

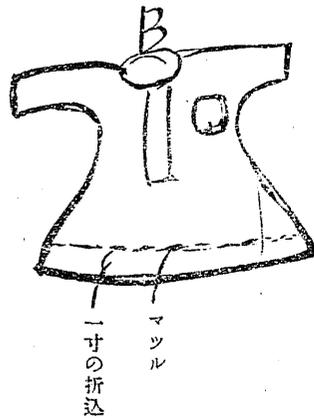
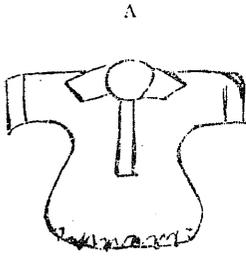
幼稚園時代の男児服と下着

(先號続き)

榎田千恵子

著物スリーブ應用で、男児の外出服、通園服を、手輕に調製致しますことは前號に申し上げました。がこれはロンパを召すお子様よりも、大きいお方でズボンをはきこなされる、お子様向でございます。即ち、上著と、ズボンと、別々になりますので、其上著が著物スリーブの應用でございますから、至つて簡單に出来ます。

ブラウスの用布は夏向の外出用には、「リネン」、「ポイル」、白「モス」、「ケンドン」等を、平常著には「キヤラコ」、「チャミ」等がよろしいと存じます。

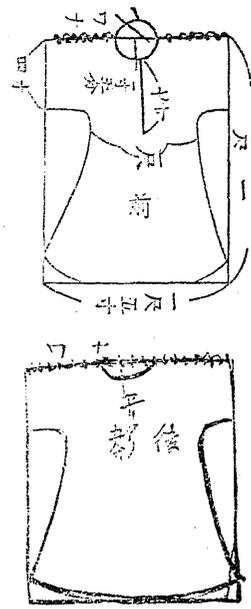


上圖にある A は、裾の所をゴムテップを入れてく、りズボンの上から、二寸位の所で、だぶだぶに致して置きますと、

誠に可愛らしくて、よろしうございます。 B は、裾にゴムテップを用ひませんで、一寸位の縫込を致して、ミシンなりまた手縫の場合には、マツります。ブラウスは、五六歳のお子様なれば、用布並巾物なれば、巾「一幅半」で二尺の丈があれば出来きます。

但し、脊の高い方、よく肥つてお腹の大きいお子様は、出来より、一尺位の丈になさつて、裾には

ゴムテップをお用になる方がよろしうございませう。



圖の如く、二尺の布を二つに折り、ワナの方をエリに致して、袖口を四寸に印をして、圖に一尺とあるは身幅の一番せまい處です。(ダキ)を五寸(ひろげて一尺になります)にきめて、裾の處まで、袖の處から圖の様にくりまます。裾の處は圖の様に兩方の脇の處は、丸身にくりまます。衿明は、後でも前でもおすきすぎですが、五六寸から七寸位あけて、別切の衿を、幅七八分のをつけます。

和服の裁縫どちがひまして、寸法も召すお子様の格向本意で、取捨していたゞきます方がよい形のものが出來上りますから、大體の形を參考になさつて

皆様御自身の工夫をお加へになることを、おすゝめ致します。

私の説明は、寸法其他が漠として居りますから其のおつもりでござん下さい。

縫ひ方は、エリグリへ、「ハス切」の四分幅を、手でのばすだけのばして、「ミカヘシ」の様に、縫ひつけてマツります。それから堅衿を、別切でつけます。この時にお子様は、めさせて、首の寸法をよくおとりになつて、衿をおきめ下さい、これはエリグリへ「ミカヘシ」をおつけになるまへに、なさつてもよろしうございませう。

それから脇は、ふくろ縫になさいまして、袖口は衿がながければ、五分位の三折になさつて、袖口明三寸七分位の、ゆつたりしたものになさると夏向には、極すゞしくつてよろしうございませう。

裾は前述の如く、テップでくゝるのど、裾くけをして置くのと御隨意にして、これにポケットも、お好みの位置に餘り大きくないのを、おつけになつて、ハンカチーフでも、少しく見せかけておきますと、可愛らしくてよろしうございませう。カラーを別に共切でこしらへて、スナップでとめましても、また絲

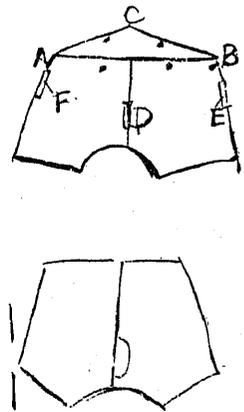
でくけつけておきましてよろしうございます。

此のブラウスは布地は前述のもので、色はお好みでございしますが、私は洗濯に便利で上品な白を一番おすゝめ致します。色ものははげる患ひで洗濯の数が、少なくなりまして、さかく不衛生になり易いと存じます。ブラウスはお母様のお手で、洗面後なり、お入浴の時なり、手拭一筋と餘り代りはない、「カサ」でございましてから手軽に洗濯も出来ます。マルセル石鹼からラックスを御用意になれば白地は樂に洗濯はへが致しますから、どうぞ白はよこれ易いなどといふ、昔流の御考でなく、子供服の上著と下著にはせいぐ白を御利用下さいませ様に。

ブラウスに用ふるツボンは前號に申上げましたパンツ(イタリヤチル製)と同形のツボンをおたちになつて、最初は著なれぬお子様にお用ひになるのもよろしうございませう。

今こゝに申上げますのも、前のパンツに少しく大人びた位で大體の形も恰と同じで、唯下を縫ひまして、真中に明をこしらへて置きますのご。ポケットを脚につけますだけでございませう。

圖の如くに、新聞紙で形をきり、布に當てゝ裁ち



ます。此圖のAからBまでの丈は九寸。これが腹まわりの寸法で、Cの高さ二寸に致します。こ

れは「イシキ」の處のゆとりになります。Dは明の處で二寸あけて上と下は、カンヌキ止をしておき、裏には月形の地をぬいつけて、其月形の處と、表の明とにスナップ一つつけて止めておきます。EFはポケットになります。ボタンあなを最後にあけてかゝります。

このツボンは、ウエストでつります。ウエストは、キャラコでつくりませんが、メリヤス製のウエストは、のびちゝみが出来まして、工合がよろしうございませう。これにはガーター(靴下止)をつる場所も出来て居りまして、誠に便利でございませう。銀座尾張町角の五番館で賣つて居りますが、價格もさほどに、お高くもなく、かなりよく持ちますので及能いそ子様や私は子供にこれを用ひさせて居ります。

(終)